

1 活動名

先進地行政視察 函館市「MCI（軽度認知障害）スクリーニングテスト」

2 調査の目的

- (1) 本市における課題
認知症の早期発見への施策が十分とは言えない。
- (2) 調査の必要性
具体的な実施方法、成果、課題を直接聞く必要がある。
- (3) 調査項目
 - ・ 事業導入の経緯
 - ・ 実施状況
 - ・ 成果と課題

3 調査地選定理由

- (1) 函館市
中核市として認知症対策に積極的に取り組んでいることから選定した。

4 調査結果

- (1) 実施日 令和元年10月 2日
- (2) 出席者 4名 近藤晴彦 上條美智子 勝野智行 内田麻美
- (3) 函館市
軽度認知障害（MCI）を早期に把握し、早期診断や適切な介護予防・認知症予防活動への参加促進及び認知症の正しい知識の普及啓発を図ることを目的に導入。
検査は「簡易知機能確認スケール」を使用し、コールセンター方式と対面方式の2通りの方法で実施している。過去3年間で1450人が受検、70代～80代では20～30%がMCIの疑いありとのこと。
- (4) 成果・所感等
MCIスクリーニングテストにより、MCIの疑いのある人への適切な情報提供ができることにつながる事が分かった。適切な対応により認知症発症リスクは軽減されることが分かっており、将来の認知症発症の抑制に効果があると考えます。
本市での導入を提案していきたいと思うところである。

5 政務活動費

- (1) 使途項目 調査旅費
- (2) 支出額 458,460円
(日当9,000円、交通費21,030円、宿泊費29,600円、航空運賃54,160円) x 4人
(土産代1,100円) x 3個 (函館市・石狩市・岩見沢市)